

第79回定例会

KNS

in MOBIO

共催：第20回INS in 関西

9/7 SAT 2024

13:00-20:00 (プレイベント11:00~)

- 会場 MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)
 - 参加費 1,000円 ● 交流会費 4,000円
- (どちらも学生は半額、ただし社会人大学生は除く)

オープンファクトリー、ココから！ ～中小ものづくり企業のイノベーション創出要因～



PROGRAMS

- 11:00 ● ものづくり企業によるワークショップ
- 12:30 ● 受付開始
- 第一部**
- 13:00 ● 開会あいさつ 馬場 広由己氏 大阪府商工労働部 部長
- 13:05 ● 基調講演 文能 照之氏 / 近畿大学教授 キャリア・マネジメント学科長
・経営イノベーション研究所所長
- 13:55 ● 活動報告
FactorISM / こーばへ行こう！ / 泉州オープンファクトリー /
ワークワクワ河内長野 / 大正・港・西淀川オープンファクトリー /
だいたいオープンファクトリーCONTACT / 不器用FACTORY /
岩手ネットワークシステム(INS) / 関西ネットワークシステム(KNS) /
ものづくりビジネスセンター大阪(MOBIO)
- 第二部**
- 15:35 ● 井戸端会議1 テーマ「これからの働き方改革ってどうよ??」
- 16:50 ● 井戸端会議2 テーマ「これからの教育ってどうなる??」
- 第三部**
- 18:05 ● 交流会
- 20:00 ● 終了

KNS(関西ネットワークシステム)とは「産学官民連携はコミュニケーションから始まる!!」をテーマに年4回開催する定例会をはじめ、研究会活動、ミニ井戸端会議など2003年6月14日の発足以降、1,100回を超える活動を行い、様々な形で産学官民メンバーの交流を深めてきました。また、INS(岩手ネットワークシステム)は、KNSがモデルとした岩手県内の科学技術および産業振興に関わる産学官の人々の交流ネットワークです。

MOBIOでは、過去2回KNS定例会を開催してきましたが、3回目を2020年2月22日を予定していましたがコロナにより延期となっておりました。

今回、満を持して3回目の開催の運びとなりました。テーマは、ものづくりの変革と挑戦にチャレンジする企業を後押しするMOBIOらしく、ものづくり中小企業のイノベーション創出のきっかけの一つとなるオープンファクトリー。この実施主体者、参加企業などにお集まりいただき、産学官民異分野の交流を楽しんでいただきたいと思います。どなたでもご参加いただけますので、ぜひご参加ください。

会場周辺地図

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-4-17
クリエイション・コア東大阪 南館

- 近鉄けいはんな線荒本駅1番出口から約500m
- Osaka Metro中央線長田駅3号出口から約800m ※東大阪市総合庁舎の西隣です。



参加申し込み

参加ご希望の方は、下記サイトの参加申し込みフォームよりお申し込みください。

<https://kns.gr.jp/schedule/76teireikai-mobio/>

注意事項

- 当日はラフな格好でお越しください。男性はなるべくノーネクタイでお願いします。
- 会場には、駐車場がありません。電車やバスなど公共交通機関でお越しください。
- 名刺は大量にご用意ください。目安100枚以上。



主催：MOBIO(ものづくりビジネスセンター大阪)、KNS(関西ネットワークシステム)、INS(岩手ネットワークシステム)

協力：FactorISM、こーばへ行こう！、泉州オープンファクトリー、ワークワクワ河内長野、大正・港・西淀川オープンファクトリー、だいたいオープンファクトリーCONTACT、不器用FACTORY

第二部

井戸端 会議

IDOBATA MEETING

テーマ説明

THEME

第二部では、参加者全員が参加して
少人数テーブルに分かれて「働き方」と「教育」
について意見交換を行います。

1 これからの働き方改革って どうよ???

在宅勤務、ワーケーション、サテライトオフィスなど新しい働き方や勤務時間制限に向けた法制度改革などが進む中、これらが必ずしも日本の国際競争力を高める方向に進んでいるとは言い難い現状があります。このままでは生産性が低下し、競争力も失われる恐れもあります。職場としても、新卒の採用の売り手市場化する中、20～30歳代の早期退職者が増加するなど採用・定着面での課題も出てきています。

その一方で、フリーランスや社会起業、副業の進展など多様で自由な働き方も増えてきています。効率性を重視しつつも、豊かな生活を実現できる働き方について、皆さんで意見交換しましょう。

2 これからの教育って どうなる???

戦後の画一的な教育は経済成長を支えましたが、バブル崩壊後はイノベーションの低迷、個人の経済格差・二極化、学歴社会のガラパゴス化、子どもの多様化と支援不足が課題となりました。現在は人口減少時代に入り、教員不足と教育現場の過重労働、保護者の多様な要求、AIなどデジタル化の進展といった問題に直面しています。また、生涯教育がWell-Being やリスキリングといった新しい観点から注目されています。

このように多くの課題と変化のある教育の転換期において、「これからの教育」について意見交換しましょう。



※写真は過去に開催された井戸端会議のもです。